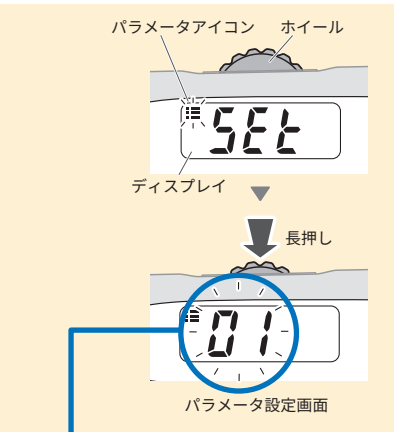


パラメータ設定



パラメータアイコン ホイール

ディスプレイ

長押し

パラメータ設定画面

(1) ホイールを押します。

(2) パラメータアイコンが点滅したら、1 秒以内にホイールを長押しします。

(3) パラメータの変更モードに入ります。その後、ホイールを操作し、パラメータを変更します。

値の変更

値の確定

確定の再確認

※パラメータを変更するには、この操作が必ず必要です。
(パラメータ No. 25 は除く)

YES または NO

※再度、値を変更したい場合は [no] を選択してください。
選択中のパラメータ No. 表示画面に戻ります。

最終確定

※ 設定途中で電源 OFF にすると変更内容が失われます。 ※ 設定途中で 10 秒間放置すると通常画面に戻ります。

パラメータ No.	パラメータ名／概要	設定値	工場出荷時の設定 (No. 25 を実施時の値)
01	表示温度単位 ℃ または °F のいずれかを選択します。 ● 全ての設定値が変更した表示温度単位に変換されます。	℃ / °F	℃ (USA 向け : °F)
02	スリープ：時間の設定 こて部をこて台に置いてからスリープ状態に移移するまでの時間を設定します。 ● 設定時間が短いほどこて先酸化の緩和に効果があります。 ● 設定温度が 300℃ (570°F) 以上の場合のみ本機能は有効です。 ● ディスプレイに [SLP] と表示されている場合は、ホイールを押すと通常画面へ遷移します。	1 ~ 29 min	06
03	下限温度エラー はんだ付け作業時、こて先温度が下がったら [H - E] が表示され、点滅してお知らせする機能で、その時の下がり幅を設定します。	30 ~ 150℃ 54 ~ 270°F	150℃ (°F : 270)
07	スリープ：有効 [On] / 無効 [OFF] の設定 パラメータ No. 02 で設定した時間になると、自動でスリープ状態へ遷移するか否かを選択します。	On / OFF	OFF
13	スリープ：スリープ温度の設定 パラメータ No. 02 で設定したスリープ中のこて先温度を設定します。 ● 設定温度が低いほど、こて先酸化の緩和に効果があります。 ● ディスプレイに [SLP] と表示されている場合は、ホイールを押すと通常画面へ遷移します。	200 ~ 300℃ 390 ~ 580°F	200℃ (°F : 400)
25	イニシャルリセット 全ての設定を購入時の状態 (初期値) に戻ります。	℃ / °F	℃ 選択時 押す no℃ 回す YES℃ 押す 888.°F
		℃ / °F	350℃ 設定温度 350℃ 通常画面
31	アジャストモード：有効 [On] / 無効 [OFF] の設定 アジャストモードを有効 [On] にすると、こて先温度の補正が可能です。 ● 無効 [OFF] に設定すると、[ADJ] はディスプレイに表示されません。	On / OFF	OFF

規定の温度範囲で作業したい時に便利です。
設定温度 350℃ で 320 ~ 350℃ の間ではんだ付けしたい時は No. 03 の設定値を [30] に変更し、はんだ付け作業を開始してください。作業中にこて先センサー温度が 320℃ 未満になった場合、[H - E] が表示され、点滅してお知らせします。
上限は設定温度で制限します。



作業の一時中断 **スリープモード**

はんだこてをこて台に置いてから任意の時間 (1 ~ 29 分) が経過すると、設定されたスリープ温度までこて先温度が下がり、自動的にスリープモードへ遷移します。この機能により、こて先の酸化が緩和されることで寿命が向上します。
※このモードを使用する場合は、「パラメータ No. 07」を有効 [On] に変更してください。

SLP と表示

ホイールを押し、スリープモードを解除します。
(工場出荷時 スリープ温度 : 200℃ / 400°F
設定時間 : 6 分)

スリープモードを解除します。

押す 200℃ 400℃
スリープ温度 温調開始 通常画面

● 以下の場合にはスリープモードへ遷移しません。
- 設定温度が 300℃ (570°F) 未満の場合
- 「パラメータ No. 07」の設定を無効 [OFF] に設定した場合
- はんだこてを平らな場所に置いている場合

● 「パラメータ No. 07」を有効 [On] に設定し、作業にあわせてスリープ時間 (パラメータ No. 02) と温度 (パラメータ No. 13) の設定を変更できます。



こて先温度の補正 **アジャストモード**

こて先の劣化が原因で「設定温度」と「測定したこて先温度」に誤差が生じることがあります。このモードは「測定したこて先温度」をそのまま入力することで、その誤差を補正します。
※このモードを使用する場合は、「パラメータ No. 31」を有効 [On] に変更してください。

を長押し

ホイールを長押しし、こて先の温度を補正します。
(補正範囲 : 設定温度 ±150℃ / ±270°F)

こて先の温度を補正します。(例 : 設定温度 400℃ / 実測値 395℃)

[ADJ] が表示されます [ADJ] が消えます

押す 400℃ 395℃ 400℃
設定温度 測定したこて先温度に変更 補正開始 通常画面

● 設定途中で 5 秒間放置すると通常画面に戻ります。
● こて先温度の補正は、こて先温度が安定してから行ってください。
● こて先を新品に変更したり、こて先の形状を変更したりしても、設定温度と実測値に誤差が生じます。実測したこて先温度に合わせ、こまめにこて先温度を補正してください。

トラブルシューティング

⚠注意		
内部点検や部品交換の前に、電源プラグをコンセントから抜いてください。		
こて先が熱くならない。	電源コードのプラグが外れていませんか？	▶ プラグをコンセントに差してください。
	電源コードが切れていませんか？	▶ 本体を修理に出してください。
	ヒーター交換時のはんだ付けが不良になっていませんか？	▶ はんだ付けし直してください。 それでも解消しない場合は、本体を修理に出してください。
[H - E] が表示される。	はんだ付け対象物に対してこて先の熱容量が小さすぎませんか？	▶ もっと熱容量の大きいこて先を使用してください。
	下限設定温度エラーの設定値が小さすぎませんか？	▶ 設定値を大きくしてください。 (「パラメータ No. 03」を参照)
	ヒーターが切れています。	▶ ヒーターを交換してください。 それでも解消しない場合は、本体を修理に出してください。
[S - E] が表示される。	ヒーター／センサーが切れています。	▶ ヒーターを交換してください。
	基板が故障しています。	▶ 本体を修理に出してください。
[- - -] が表示される。	故障しています。	▶ 本体を修理に出してください。
こて先にはんだがのらない。	こて先の設定温度が高すぎる、または低すぎませんか？	▶ 適正温度に設定してください。
	こて先が変形、または酸化していませんか？	▶ こて先が変形している場合は、こて先を交換してください。 酸化している場合は、酸化物を取り除いてください。 それでも解消しない場合は、こて先を交換してください。
こて先温度が高すぎる／低すぎる。	こて先温度を補正していますか？	▶ 温度を測定し、正しい値を入力してください。 (「こて先温度の補正 (アジャストモード)」を参照)

本書でご確認いただいた対処を行っても解決しない、またはその他問題点が発生した場合は購入された販売店へご連絡ください。